

プログラムの特色

高知赤十字病院内科専門研修プログラム

当院内科系には、消化器、循環器、呼吸器、血液、糖尿病、腎臓、リウマチ膠原病の専科があり、それぞれの専門医が互いに相談・協力し合いながら日常の外来・入院診療を行っています。そのため、幅広い視野とスキルを培う内科研修が可能であり、サブスペシャリティ領域を重視した専科単独の研修であっても臓器専門に著しく偏ることのない内科専門医となることが可能と考えます。

また、より高度な医療の研修を希望される専攻医には、連携施設である二つの国立大学病院での院外研修も可能となっています。一方、本プログラムは高知県内で健康管理、在宅医療から救急医療まで様々な医療分野を担っている施設と連携を組んでいるため、超高齢社会である高知県の医療事情に精通した専門医を育成します。研修終了後には、高知県全体の医療を支え、リーダーシップを発揮しうる内科医となることを期待します。

専攻医週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土・日
午 前	内科朝カンファレンス（各診療科）					担当患者の病態 に応じた診療・ オンコール 内科・救命 救急センター 日当直 講習会・ 学会参加
	健診部 （診察・検査）	入院患者診察 救命救急センター （オンコール）	入院患者診察	入院患者カンファレンス （各診療科）	入院患者診察	
	入院患者診察		内科検査 （各診療科）	入院患者診察	内科外来診察 （総合）	
午 後	入院患者診察	内科検査 （各診療科）	入院患者診察	内科検査 （各診療科）	入院患者診察	
	入院患者カンファレンス （各診療科）	内科合同カンファレンス ・抄読会	講習会・CPC・地域 参加型カンファレンスなど	入院患者診察	救命救急センター （オンコール）	
	担当患者の病態に応じた診察・オンコール（内科・救命救急センター当直など）					

取得可能専門医

- 日本内科学会専門医
 - 日本糖尿病学会糖尿病専門医、内分泌代謝・糖尿病内科専門医
 - 日本腎臓学会専門医
 - 日本リウマチ学会専門医
 - 日本循環器学会専門医
 - 日本消化器病学会専門医
 - 日本消化器内視鏡学会専門医
 - 日本呼吸器学会専門医
- 他、当院ホームページ参照

キャリアパス

キャリアパス

内科専門研修
プログラム専攻医

内科専門医

サブスペシャリティ
専門医

卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
	初期臨床研修期間																
研修施設名	高知県下の 研修病院		高知赤十字 病院		高知赤十字病院		野市中央病院 土佐市民病院 幡多けんみん病院 あき総合病院 のいずれか		高知赤十字病院			高知赤十字病院 ※国内留学等					
診療以外の キャリア	-	-		野市中央病院、土佐市民病院、嶺北中央病院、幡多けんみん病院、 橘原病院、大月病院、馬路診療所、大正診療所、大崎診療所のいずれか							野市中央病院、土佐市民病院、 幡多けんみん病院、あき総合病院のいずれか						
償還期間 消化年数	1年	2年	3年	4年	6年		8年		8.5年	-	-	9年	-	-			

（高知県医師養成奨学貸付金受給者の例）

※実際の勤務先については都度、受け入れ施設及び県と相談
※他の連携施設については、当院HP参照



お問い合わせ

〒780-8562 高知県高知市秦南町1丁目4番63-11号
日本赤十字社 高知赤十字病院 総務・人事課
TEL: 088-822-1201 FAX: 088-822-1056
Mail/ kenshu@kochi-med.jrc.or.jp

現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？

A

研修医のときに当科をローテーションした際、診療内容や考え方が自分に合っていると感じたからです。専門の腎臓・膠原病・糖尿病・内分泌分野はもちろんですが、それ以外の総合内科的なスキルも同時に養うことができると考えたからです。医療は細分化されるといっても、高齢者が多い現代において内科医として患者さんの全体像をとらえ、つまり総合的に考えることが大切と考え、それを学べる場だと感じました。

上司の先生方の高い臨床力に憧れたことがきっかけです。どの先生にも相談しやすく、臨床の些細な疑問でも聞きやすい環境です。先輩方もそうされてるように市中病院でありながら国内留学が可能であることも魅力と考えました。後輩たちが当科に残ってくれることも大変嬉しいことであり切磋琢磨できるので現在のモチベーションの一つになっています。一方で当科の先生方は家庭も大切にされており、家族との時間を大事にしているなと感じます。仕事と家庭を両立できる職場だと思います。

卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください

A

高知赤十字病院で初期臨床研修医として2年間過ごし、そのまま3年目も高知赤十字病院の糖尿病・腎臓内科/リウマチ科に残りました。4年目〜5年目の前半まで土佐市民病院で常勤医として勤務させていただきました。私自身、地域枠ですので早期から地域に出ることができ円滑に地域枠の義務年限を消化することができました。5年目の後半からは高知赤十字病院に戻りました。当院の内科プログラムにより最短で内科専門医を取得できました。今後は国内留学も考えています。

休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？

A

全体的に休暇がとりやすい雰囲気です。また、土日祝日に日当直をした場合は平日に代休を取得できます。ま

研修医や医学生にアドバイスをお願いします

A

医学生の方へ。当院の初期臨床研修では、内科が充実しておりますので、将来どの診療科に進むにしても必要最低限知っておかなければならない内科的知識を幅広く学ぶことができます。研修医の方へ。将来進む診療科を迷われていることと思います。実際に見学して職場の雰囲気を感じて、自分に合ったところを見つければ良いと思います。その中で当院を選んでいたのだと嬉しいです。

高知赤十字病院

内科

DR.松本に
聞きました！
キャリアについて
教えて！

糖尿病・腎臓内科/リウマチ科

松本 秀志 DR.
matsumoto hideshi

Profile

出身大学/高知大学
初期研修病院/高知赤十字病院
卒後何年目/7年目
専門分野/膠原病・腎臓・
糖尿病

救急科

高知赤十字病院



DR.原に
聞きました！
キャリアについて
教えて！

救命救急センター
原 真也 DR.
hara shinya

Profile

出身大学／徳島大学
卒後何年目／23年目
専門分野／ER救急・集中治療・
災害医療

A 8年目に外科から救命救急に道を変えましたが、途中で2年間は神奈川の横浜労災病院救命救急センターで都市部のERを学びました。高知赤十字病院ではERだけでなく、ICUや麻酔、災害医療とすべてを満遍なく身につけることができ、どんな症例にも冷静に対応する力がついたと思います。現在は、救急科専門

Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください

A 8年目に外科から救命救急に道を変えましたが、途中で2年間は神奈川の横浜労災病院救命救急センターで都市部のERを学びました。高知赤十字病院ではERだけでなく、ICUや麻酔、災害医療とすべてを満遍なく身につけることができ、どんな症例にも冷静に対応する力がついたと思います。現在は、救急科専門

A 私はもともと外科医として医師の道をスタートしました。4年目に外科医として高知赤十字病院に赴任し、そこで前救命救急センター長の西山謹吾先生（現在は、高知大学危機管理医療学特任教授）と出会ってから救命救急の魅力に取りつかれ、8年目に外科から救命救急の道に進み、現在に至ります。

Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？

医、外科専門医、麻酔科専門医のトリプルボードを維持しながら、集中治療専門医や外傷専門医も取得しています。また日赤災害医療コーディネーターや日本DMATインストラクターとして、県内外の災害研修で指導したり講演したりもしています。10年目はとくに過ぎたのですが（笑）、現在は研修医への教育に最も力を入れています。若い先生方とディスカッションすることは私にとっても大変勉強になります。また救急隊への指導にも積極的に関わっており、しっかり連携できるようにしています。

Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします

A 今後どの科に進むにしても、研修医や専攻医で救急を学ぶことは医

Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？

A 救急はオンオフがはっきりしているの、休日はしっかり取れています。子供たち（小学生と幼稚園）と公園で遊んだり、家族と過ごす時間が最もリフレッシュできます。



師としての自分の引き出しを増やすチャンスだと思います。ぜひ当院で充実した研修生活を送りましょう。見学にも気軽に来てくださいね。

プログラムの特色

高知赤十字病院救急科専門医育成研修プログラム

本研修プログラムの目的は、「地域住民の救急医療へのアクセスを保障し、良質で安心な標準的医療を提供できる」救急科専門医を育成することです。本研修プログラムを修了した救急科専門医は、急病や外傷の種類や重症度に応じた総合的判断に基づき、必要に応じて他科専門医と連携し、迅速かつ安全に急性期患者の診断と治療を進めるためのコンピテンシーを修得できるようになります。

また、急病で複数臓器の機能が急速に重篤化する場合、あるいは外傷や中毒など外因性疾患の場合は、初期治療から継続して根本治療や集中治療においても中心的役割を担うことが可能となります。さらに地域ベースの救急医療体制、特に救急搬送（プレホスピタル）と医療機関との連携の維持・発展、加えて赤十字の使命である災害時の対応にも関与し、地域全体の安全を維持する仕事を担うことも可能となります。

専攻医週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土・日
午 前	ICUカンファレンス					
午 後	救急外来またはICU ※宿日直（救外またはICU）あり					
	申し送り、症例検討会等					

取得可能専門医

- 日本救急医学会専門医
- 日本外傷学会専門医
- 日本呼吸療法医学会専門医
- 日本腹部救急医学会認定医
- 日本集中治療医学会専門医

キャリアパス

キャリアパス																	
救急専門研修 プログラム専攻医 救急科専門医 サブスペシャルティ 専門医																	
卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
研修施設名	高知県下の 研修病院		高知赤十字病院			高知赤十字病院	幡多けんみん病院 あき総合病院 のいずれか		高知赤十字病院			高知赤十字病院 ※国内留学等					
診療以外の キャリア	-	-			幡多けんみん病院、 あき総合病院、 くぼかわ病院のいずれか						幡多けんみん病院、 あき総合病院のいずれか						
償還期間 消化年数	1年	2年	4年		4.5年	6年	8年		-		9年			-			

（高知県医師養成奨学金貸付金受給者の例）

※実際の勤務先については都度、受け入れ施設及び県と相談
※他の連携施設については、当院HP参照



専門研修 HP
<https://www.kochi-med.jrc.or.jp/kensyu/specialized.htm>

お問い合わせ

〒780-8562 高知県高知市秦南町1丁目4番63-11号
日本赤十字社 高知赤十字病院 総務・人事課
TEL: 088-822-1201 FAX: 088-822-1056
Mail/ kenshu@kochi-med.jrc.or.jp